
IS(インフィニット・ストラトス) ~何というチート人生~

メフィスン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

インフィニット・ストラトス
IS ～何というチート人生～

【Nコード】

N2188Z

【作者名】

メフィスン

【あらすじ】

俺の名前は久遠 龍二。目を覚ますとそこは見知らぬ場所だったんだ。しかもいきなり神様が現れて……俺の人生どうなるの！？この小説はオリ主が一夏ラウ・アーズのキャラとイチャイチャする、そんな話です。あと、オリ主はチートです。それは断言できます。

始まりは突然（前書き）

あの………すいません！もう片方が全く書けていないのに新作始め
ちゃって………

けど、頑張って行きますので………よろしく願いします！

始まりは突然

「……………ここ、何処だ？」

目が覚めると全く知らない場所に居ました。いや、俺はこんなところに来た覚えは無い。そうこう考えていたら、

「おお、目が覚めたか」

「うおっ！？だ、誰だよ！」

目の前に変なじいさんが現れた。いや、何だよこれ！夢か、夢なんだよな！

「違うぞ、夢ではない……………僕はお主から神と崇められとる者じゃ」

「はあ？か、神が何で俺の目の前に居るんだ？……………ってか心読むな！」

「おお、すまんすまん。しかしな、急ぎの用があるんじゃ」

「俺も学校があるんだよ！早くしてくれ！」

そう、俺は高校生なんだ。だから早くしないと学校に遅れる！

「ああ、その話なんじゃが……………お主、行かんでいいぞ。というか、行けん」

「……………はい？」

突然何だよ！自称神が現れたかと思うと学校に行けないって……………どういふこと？

「すまん、儂らのミスでお主を死なせてしまったのじゃ」
「何！？つーか、お前らの責任かぁ！！」

いきなり死の宣告来ました。って何で死んだんだっけ？……………あぁ、
そついや通り魔に刺されたんだっけ……………

「すまんっと言ってるであろう。だから責任を取って転生させてやる。ただし、元の世界は無理じゃぞ？」

「……………転生？それって、小説の世界とかも行けるのか？」

「儂の手にかかれば何処でも行けるわい！」

いや、胸を張られても……………つか、それなら……………戦争とかは無し
だな。すぐ殺されちまうもんな。

「それなら問題無い！お詫びにお主の願いをいくつか聞いてやる」

「それマジか！？」

なんか話がいい方向に？まあいいか。

「それでは、戦争が起こっている世界でいいのか？」

「いやいやいや！そんな事無いですよ！」

「……………変わり身が早い。それじゃあ、何処がいいのじゃ？」

うーん……………仮面ライダー好きだったからなあ、そこでもいいけど……………
…ここはあえて、

「ISの世界でお願いします！」

「IS……………？はて、どんな世界じゃったか……………」

「えっと、インフィニット・ストラトス……………だったような」

「ああ、あれか。分かった……それでお主の願いは？」

ふっふっふっ、これで俺はハーレムの中に……

「とりあえず、男のまま転生がいいです」

「了解した。……っという事は、ISに乗る才能もいるな？」

「はい！お願いします！」

「いいんじゃない、俺の責任だから……後は何がいいかの？」

「えっと、素手でISと戦える身体能力は……いけますかね？」

「むむっ、何故そんな能力が……ああ、なるほどな……分かった」

俺の心を読んだが、俺も良く考えて無かったんだが……まあ、いいか。

「それで、後は何かあるかな？」

「ええっと……専用機が欲しいんですけど」

「任せい！俺の手にかかれば最強の専用機を用意してやる！」

ん……？急に張り切ったぞ、そういうの得意なのか？

「ああそうなんじゃよ 俺はそういうの作るの大好きなんじゃ それでどうなのがいいのじゃ？」

また心読んでる……

「えっとですね……平成仮面ライダーに変形できるISがいいんですけど……」

「なぬ？……それは、何だ、あの……サブライダーもなのか？」

目を光らせてこっちを見ないで欲しい。

「えっと、出来たらそうして欲しいなあって……」

「任せい！それくらい無いとつまらん！それで、カブトとかなのじやが……どうすればいいんじゃない？」

「どうすれば、というと？」

「ベルトに装着されたまま、か……原作通り自律稼働させるのか…なのじやが」

「もちろん、後者で！えっと、よろしければ、キバとかもそれでいけるでしょうか？」

「むむっ、任せよ！……久しぶりに楽しめそうじゃ……（ボソッ）」

ん？今楽しめそうとかなんとか……

「おっと、話がずれたの……それじゃあ、お主が目覚めたら……

…そうだな、IS学園入学1週間前のあたりになっておる」

「あ、ありがとうございます」

「いいんじゃない、気にするな。……それとだな、お主は篠ノ之 束と生活しとるようになっておる」

「……………はい？」

「あのじやな、お主は篠ノ之 束と共に生活をしとるという事になつとる。そうすれば、専用機持つとる理由にもなるじやろ？」

ああ、なるほどなあ……………だけどあの人かあ……………

「まあ、気にするな。チート、というんじゃないか？そんな機体を持てるのじやからな」

「ま、まあそうですけど……………」

「よし、そうとなれば出発じゃ。ISは後から送るからの！」

そう神が言つと、俺の意識が遠ざかっていった。

始まりは突然（後書き）

感想、批判などございましたら、感想にお書きください。

オリジナル主人公 & a m p ; I S 設定

名前：久遠 龍二（くどう りゅうじ）

年齢：15歳

身長：169cm

体重：68kg

容姿：黒髪で肩まで伸ばしている。目は両方とも黒。だが、電王を使用している場合はそのフォームに合わせた色になる。

性格：周りをよく笑わせる陽気な性格。だが、試合などには真剣に取り組む。

備考：篠ノ乃 束とは共に暮らしていたため、仲が良い。また、IS学園に来るまでは、束の研究を手伝っていたため、ISの知識は大体頭の中に入っている。

ISの設定

IS名：オールドライバー

能力：平成の仮面ライダー全てに変形をすることができる。また、タツロットや、カブトゼクターなどは、龍二の意思で呼び出せる。キバットバット三世は常に龍二の側に飛んでおり、クラス全員が存在を知っている。また、戦闘にアドバイスをしてくれる、オペレーターも果たしている。

また、飛ぶ事は基本出来ない。

待機形態は、腕時計型のデイクイドライバー。

オリジナル主人公 & amp; i S 設定 (後書き)

..... 原作を知らないバカですが、頑張ります.....

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2188z/>

IS(インフィニット・ストラトス) ~何というチート人生~

2011年12月7日23時53分発行